

「紡ぎ・染め・織る～手仕事を楽しむ～」

今年で3年目を迎える歴史体験講座です。歴史と言っても、書物を読む講座ではありません。江戸時代の農民は自分で綿を育て、糸車で糸を紡ぎ、藍や草木で染め、機織り機で布に織り、一着の服を縫いながら大事に着続けました。そのような当時の手仕事を楽しみながら、歴史を体感する講座です。本校教諭が、自作した糸車や高機（たかばた）を使い作業を進めていきます。

今年度の講座は、6月から10月まで全10回が実施され、受講生の中には、昨年度に引き続き参加された方もいらっしゃいました。やってみると「昔の人は本当に賢いなあ」「紡ぎの奥深さにはまってしまいました」などの声が聞かれ、初対面の方々も、回を重ねるごとにお互いに協力しながらすっかりと仲良くなって、和気あいあいと作業を行っていらっしゃいました。

実際の作業の様子です・・・



講師自作の糸車



綿から糸を紡ぐ



藍染め作品づくり



草木染め



高機に糸を通す



自作の糸で機織り

参加者の声から

手仕事が好きで紡ぎ、染め、織るに興味があり参加しました。糸車を初めて使いなかなか上手にいかず、力加減で蜘蛛の糸の様に細く毛糸の様に太くなりながらも糸が段々長くなると嬉しく、綿が糸に変わった時は感動でした。作品が出来上がり参加してとても良かったです。日常なかなか個人では体験できない楽しい講座でした。また、参加したいと思っております。

(M.Kさん)